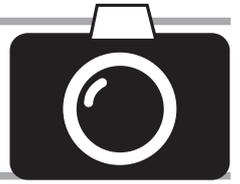


まちの話題

My Town Topics



心あたたまる支援

▶地元企業からマスクとフェイスシールドの寄贈

5月13日、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に役立ててほしいと、地元企業よりマスクとフェイスシールドを寄贈していただきました。いずれも自社の技術を活用した生産品です。

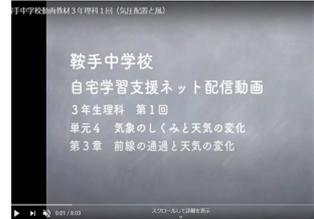
◆(株)サンシャインチトセ(真武和雄会長)…マスク5000枚

◆(株)ニッショウテクノス(田代雄二代表取締役社長)…フェイスシールド120枚



寄贈していただいたマスクは、町内の高齢者施設や保育所などの32の事業所と妊婦に配布。フェイスシールドは、町内の12の医療提供機関に配布します。

授業を YouTube 配信!! ▶ 4教科



新型コロナウイルス感染症の影響で、臨時休校している鞍手中学校では5月8日から授業の動画配信が始まりました。

保護者(生徒)に動画のアドレスを通知することで生徒は配信を視聴できます。国語、数学、社会、理科の4教科を配信し、学校が再開しても当面の間は、授業と併用して配信を行います。

すくすく日記

6月生まれ



かねたけひゅうが 兼竹彪嘉くん

平成29年6月8日生まれ

車と新幹線が大好きなひゅうが君♡おしゃべりもたくさんできるようになって、たくさんお話してくれるね!これからいっぱい遊んで元気に育ってね♡(父 琢也さん、母 絵里香さん・中山)

お待ちしております

広報「すくすく日記」のコーナーでは、発行月に誕生日を迎える満3歳までのちびっ子を募集しています。7月生まれは、6月10日(水)までに申し込んでください。申し込みや問い合わせは、役場政策推進課政策係 ☎42局2111番 (jouhou@town.kurate.lg.jp) まで。

読者の皆さんのページです。

ひろば

楽しかったこと、悲しかったこと、思い出、地域のできごと、イラストやマンガ、エッセイ、サークルのお誘い、趣味や宝物、広報へのご意見・ご感想などどしどしお寄せください。あなたの住所、名前、年齢、電話番号も忘れずに。投稿された人には、記念品を差し上げます。

- 中学生人権子ども会活動
 - やひろ人権なかよし子ども会
 - くらって人権なかよし子ども会
 - ※詳しくは、教育課生涯学習係までお問い合わせください。
 - 問い合わせ 教育課生涯学習係 (中央公民館内) ☎42局7200番まで
- 教育課生涯学習係
- 鞍手町教育委員会では、少年期における人権意識の向上をめざす人権教育啓発活動として、鞍手町人権子ども会を開催しています。人権学習や自学学習、さまざまな体験学習を行っており、随時申込みできます。ぜひご参加ください。
- 人権子ども会に参加しませんか

広報ぎやらりー

すてきな作品をお待ちしています

ねんど細工や絵、書、紙細工、陶芸、俳句、短歌など自慢の一品は、ありませんか。「広報ぎやらりー」では、紙面を彩るあなたの作品をお待ちしています。作品についての100字以内の感想もお願いします。

役場政策推進課 ☎42局2111番まで、ご連絡ください。

手編み

奈木野ツヤ子さん (手編み教室)

春らしく明るいピンクの段ぞめを使ってセーターをあみました。似合うかな。



粘土

森 恵津子さん (新北)

樹脂粘土でミニバラのリースを作成しました。(円形: 30cm)





現在世界中で新型コロナウイルス感染症が流行していますが、
どういいう感染症なのですか？ (57歳・女性)

新型コロナウイルス感染症とは？

2019年12月に中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスによる感染症 (Coronavirus disease 2019: COVID-19) です。現在では世界中に拡散し3百万人以上が感染し、20万人以上が死亡しています (2020年4月29日時点)。日本でも1万人以上が感染し、感染者及び死亡者数は増加の一途をたっています。それに伴い医療機関、学会、政府が連携して緊急事態宣言による不要不急の外出の自粛などの対策を講じている状況です。

どういった症状？

発熱や咳、体のだるさ、のどの痛みなど風邪のような症状



「アドバイザー」

二階堂 靖彦・にかいどう やすひこ・2013年久留米大学医学部を卒業後、同大学病院での初期臨床研修期間を経て、2016年-2020年まで産業医科大学大学院に在籍および卒業。2020年4月よりくらで病院に勤務。

適切な予防策や外出の自粛などを行わないと新型コロナウイルス感染症が減るどころか増えることにもなりかねません。皆で一致団結して新型コロナウイルス感染症に打ち勝ちましょう。

が出るほか、嗅覚や味覚障害が生じることもあります。また、重症化すると肺炎を引き起こします。特に糖尿病や心臓・肺の病気がある患者、抗癌剤治療などで免疫機能が低下している患者や高齢者では、重症化するリスクが高いと考えられています。日頃から感染予防に取り組みとともに、症状出現時は早めに帰国者・接触者相談センターへ相談するなどの対策が重要です。

治療方法の紹介

現在アビガン (抗インフルエンザ薬)、オルベスコ (吸入ステロイド薬などの薬剤の有効性が報告されていますが確立した治療法はなく、ウイルスによる熱や咳などの症状の緩和を目指す治療 (対症療法)

を行います。具体的には、解熱剤や咳止めの薬を飲んだり、点滴などが行われます。また、急性に症状が悪くなった際には、酸素投与、人工呼吸器や体外式膜型人工肺が必要になることもあります。

予防方法が知りたい

感染経路の中心は、飛沫感染と接触感染です。飛沫感染とは、くしゃみ、咳、つばなどに含まれるウイルスを、他の人が口や鼻などから吸い込むことによりおこる感染です。接触感染とは、感染者の飛沫がついた手で周りの物に触れ、他の人がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ることによりおこる感染です。閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の環境下で

あれば、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。また、無症状の人からの感染の可能性も指摘されており、油断は禁物です。人と人との距離を2m以上とること、外出時はマスクを着用する、家の中でも咳エチケットを心がける、さらに家やオフィスの換気を十分に、十分な睡眠などで自己の健康管理をしっかりとることで、自己のみならず、他人への感染を回避できる可能性があります。

以上より、「3つの密 (密閉・密集・密接)」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などの予防が重要です。